



映像配信HP

脱炭素社会を目指す取組について



公明党 加納 進

①今年度、「SDGs未来都市」に選定されたこの時期を好機と捉え、墨田区として「2050年ゼロカーボンシティ」を表明してはどうか。②第二次すみだ環境の共創プラン改定後は、新型コロナウイルス感染症の状況を見守る必要があるもの、ゼロカーボンシティをキーワードに機運醸成のためのフォーラム等を開催してはどうか。

①SDGs未来都市として、持続可能な「すみだ」の実現に向けて、議会の皆様とも相談しながら「2050年ゼロカーボンシティ」を表明する方向で早急に検討する。②第二次すみだ環境の共創プランの中間改定後、区民との協働による取組を進めていくためには、まずは普及啓発と機運醸成が重要と考えるため、フォーラム等の開催を検討していく。

①コロナ禍のステイホームで家庭内の不用品を処分する区民が増え、リサイクル・リユースの意識が一層高まっている。リユース拡大に貢献する企業と提携を進めるべき。

墨田区一般廃棄物処理基本計画に基づき、事業者と連携する中でリユースの拡大を推進していくとしており、今後、事業者との協働によるごみ減量のメリットや課題を整理し、取組の方向性について検討していく。

温室効果ガス排出ゼロの取組への国の支援の恩恵を、中小企業に受けることは容易ではない。国や都の支援を最大限活用し、必要に応じ、区独自の助成を含めた支援をするべき。

国や都の支援制度の情報収集に努め、活用可能な制度については、事業者が迅速・確実に支援が行き届くよう丁寧につないでいく。区独自の支援策は、必要に応じて検討する。

新型コロナウイルスワクチン接種について



新しいすみだ 井上 ノエミ

①2回目のワクチン接種を欠席した方に対するフォローについて、何か考えているか。②ワクチン接種をあきらめた高齢者について、接種の意思を確認し、希望者には接種を行う等の計画を立てる必要があると思うか。③接種後に副反応が出た方はい人でのような症状であったのか。また、重症者はいたのか。区民の副反応の実態について、ホームページなどで情報公開すべき。④基礎疾患のある重症の心身障害者は、施設に行き接種を実施してもらいたい。その際、他の障害者も一緒に接種するべき。

①2回目の接種を欠席した方に対しては、確実に接種することができるよう、迅速に対応する。②未接種の高齢者へのアウトリーチについては、実施機関等と実施方法を具体的に検討していく。③副反応が出る割合は、国が示す数値と同程度であると考えている。現状、重症者はいない。なお、区独自で情報公開する予定はない。

④基礎疾患の対象となる重症心身障害者については、病院やかかりつけ医での接種を促す。障害者の方は、それぞれ状態が異なるため、適切な対応が図れるよう関係者と協議する。

区内の学校において、人種が違ふことによるいじめの実態はあるのか。また、外見の違いによる差別をなくすためには、学校でどのように取り組むべきであるか考えるか。

令和元年度に1件実例があったが、迅速に対応し解消した。以後、人種が違ふことによるいじめの報告はない。学校では、人は大切であるという教育を行うとともに、外見の相違によるいじめがあってはならないことを指導していく。

ニーズに合ったワクチン接種体制を



無所属 堀 よしあき

①余剰ワクチンの取扱いは、どのようになっているのか。また、余剰が生じた際の区の方針やルールを区民に分かりやすく示すことが重要と考えるが、区の考え方を伺う。②6月21日からの65歳以下の接種開始に伴い、平日夜間や土・日接種の希望が多くなるが予想される。その世代のニーズに合った接種体制の再構築が必要になると思うが、今後の方策について伺う。③区の接種計画では16歳以下は対象に含まれていないが、ファイザー社製ワクチンの対象年齢が12歳以上へと引き下げられたことで、新たな対応が求められると考える。16歳以下への対応について区の考えを伺う。

①厚生労働省による手引等に基づき、会場の医療従事者等への接種で対応している。これに加え、乳幼児の保育に従事する保育施設職員等への接種を検討しており、この内容についてルール化し、ホームページ等で公表する。②一般への接種開始に当たり、受入枠の拡大や体制の増強が必要となることから、土・日、夜間接種の充実も含め、集団接種や二次救急病院での接種体制を強化していく。あわせて、民間施設等の活用と会場運営委託など接種計画を見直す。③16歳未満への接種については、国の手引によると、原則、保護者の同伴又は同意が必要のため、今後、教育委員会と連携しながら早急に検討する。

区が主体で行う東京2020大会期間中のコミュニケーションサイトについて、現状の方針を伺う。

様々な検討を重ねてきたが、感染症対策など、会場運営に係る諸課題を総合的に検討した結果、残念ではあるが、中止の決定をした。

一般質問

学校選択制度と子ども会について



すみだの絆 田中 哲

①学校選択制度が導入されてから20年近くが経過する。この間、小学生の学校選択制度を見直し、ブロック化へと変更されたが、学校選択制度の導入によって、どう学校が変化したのか、区の総括を伺う。②子ども会に加入する子どもの数が減ってきていると聞いているが、区は状況を調査したことがあるか。また、子ども会に対して、現在、こういった支援をしているのか。③中学校における学校選択制度においては、他の地域の中学校を希望する子どももいると聞くが、学校選択制度と地域の子ども会との因果関係はないのか所見を伺う。

①制度の導入によって、保護者の学校運営への理解が得られやすくなり、学校側も保護者のニーズ等を参考にしながら、学校運営に取り組んでいる。②子ども会は、組織や運営が多岐にわたるため、子ども会の加入者数を把握することは困難である。区では、子ども会の活性化事業に係る補助金を交付する等、活動を支援している。③学校選択制度が子ども会の運営に与える影響について調査したことはない。学校案内では、地域行事等への協力を呼び掛けており、今後も一層周知していく。

65歳未満の区民への新型コロナウイルスウィルスワクチン接種について、区の準備態勢は十分か。

接種実施計画を見直し、集団接種等の体制を強化する。

ワクチン接種のネット予約を代行するようなサービスの提供は考えていないのか。

地域等と連携を図りながら、ワクチン接種を希望する全ての方々が接種できるよう努めていく。

コロナ禍で雇用機会が失われている方への雇用の確保を



立憲民主党墨田区 中村 あきひろ

本区でもコロナ禍で雇用機会が失われている方に対して、雇用を確保していく必要がある。人員が足りない部署に臨時採用枠を設け、積極的に雇用を創出する必要があると思うが区長の所見を伺う。

職員の補充が必要な場合、庁内の応援や会計年度任用職員の配置等で対応する。会計年度任用職員は、昨年度、緊急雇用で11名を採用し、現在は、通常の採用登録を随時受け付けており、雇用機会が失われた方の受け皿にもなっていると認識している。

生活保護の一次的な宿泊所として、感染抑止の観点から、劣悪な環境を強いる無料低額宿泊所ではなく、需要創出により民泊オーナーの経済的支援にもつなげていくという、基本的な人権及び経済対策の観点から、更なる民泊の活用を求める。

民泊は、一般的に生活保護の住宅扶助基準よりも宿泊料金が高額であることや利用の際に条件面で折り合いがつかない場合があることから、利用が進まないのが実態である。被保護者と民泊事業者双方の条件等が合致した場合には活用していく。

子宮頸がんの予防となるHPVワクチン接種率向上のため、事務的分かりづらい個別通知を改善するべきである。また、命に関わる自己決定権に関する事項であるため、接種対象年齢の小学校6年生にも明確に理解できるように啓発専用のウェブサイトを作るべき。

勤奨とならない範囲で最大限お知らせするよう努めており、通知はがきの内容についても不断に見直しを図っていく。ウェブサイトについては、最新の情報も含め充実し努めていく。

隅田公園内トイレの改善を求める



自由民主党 坂井 ユカコ

隅田公園内のトイレの個室には、手すりがないが区長はこの事を把握しているのか。隅田公園には広い個室、手すり等を備えた「だれでもトイレ」も設置されているが、東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルでは、「一般トイレとだれでもトイレを設置できるスペースがある場合には、特別なニーズに対応するため様々な機能をだれでもトイレだけに付加するのではなく、一般用トイレで利用者のニーズの基本的な部分を受け止めることや、便房(個室)にも機能を振り分けることが望ましい」としている。隅田公園は災害時には避難場所になるため、トイレはどんな人でも使えることが大切である。現在の状況を一刻も早く改善すべきだが、今後の対応について伺う。

隅田公園内のトイレの個室に手すりが設置されていない状況については、把握していなかったが、高齢者や身体が不自由な方へのバリアフリー対応や安心して利用できる施設とする必要があると考えるので、設置に向けて早急に対応する。

京成曳舟駅前広場等の整備に合わせた喫煙所設置計画は未着手であるが、喫煙所設置について区長の所見を伺う。

設置に関する法的整理や必要性、コストの検討などの課題を一つ一つ解決しながら、地域の要望も踏まえ対応を検討していく。

区の紙おむつ支給事業について、制度のはざまにいる方が使えるよう、仕組みや運用を工夫できないか。

介護保険第二号被保険者で障害者手帳の取得が見込まれるような場合は、弾力的な運用を図っていく。

### 常任委員会の活動

#### 企画総務委員会

開会日 4月20日(火)  
4月30日(金)  
6月17日(木)  
6月23日(水)

案件 議案14件、報告6件

#### ◆主な審査状況を紹介します。

**可決** 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(一部改正)(議案第3号)

議会の議決に付すべき事件について、借地借家法第22条に規定する定期借地権又は同法第23条第1項に規定する事業用定期借地権の設定で、その敷地面積が1件5000平方メートル以上のものを加えるもの

1件の定義について

**問** 分筆ごとに1件なのか、それも1区画全体で、いわゆる契約ごとに1件なのか。

**答** 1契約で、1区画で5000平方メートルを超えた場合は、議決の対象になる。

**可決** 令和3年度墨田区一般会計補正予算(議案第2号)

新型コロナウイルス感染症への対策、多胎児家庭支援等事業費として5億2517万6000円を追加するもの

多子世帯にも支援を

**問** 今回、多胎児支援ということだが、多子世帯への支援について

は、何か考えているのか。

**答** 多子世帯で、特に年子の場合等は大変なケースもあると思う。今回は、多胎児家庭への移動経費等の支援だが、多子世帯支援も検討していく。

**可決** 物品の買入れについて

災害備蓄用の保存食料品を買入れるもの

防災備蓄品を生活に困っている方々に

**問** 防災備蓄品の入替えの際、今まではイベント等で配っていたがコロナ禍でイベントがない中、どうしているのか。また、生活相談に来るような方に配ることはできないか。

**答** 町会・自治会等へ通知をして、譲与を行っている。生活相談において、緊急的に必要がある場合については、利活用していただいていると認識している。

**経過報告** 同性カップルの「パートナーシップの公的認証」に関する陳情(平成30年第5号)

#### 陳情の要旨

区において、同性同士で生活する者も家族として扱う「パートナーシップの認証制度」などの導入検討と、性的アイデンティティ、性的指向による差別を許さない啓発を求めるもの

#### 区への対応

関係所管課で構成するワーキンググループを設置し、制度導入に向けて具体的に検討することとした。

学校教育において人権教育の指導等を行っている。墨田区人権に関する意識調査で、性自認・性的指向関連の質問項目を追加し結果を公表した。性の多様性関連の人権啓発等については、令和3年度中に改定予定の「墨田区人

権啓発基本計画」で策定する。

制度導入に向けてのスケジュールは

**問** 東京都ではパートナーシップ制度の検討を進めるという知事の前向きな答弁があった。本区の制度導入に向けてのスケジュールを伺う。

**答** 今年度からワーキンググループを設置し、検討していくこととしている。都の動き等も注視しながら進めていきたい。

**経過報告** 「見た目問題」に関する陳情(平成30年第7号)

#### 陳情の要旨

区において、「見た目問題」に関し区民等への啓発と相談窓口の設置及び庁内連携体制の整備並びに実態把握と施策の検討を求めるとともに、国においても実態を把握し、カツラ・エビテール等の助成金創設や就職差別の禁止等、施策を検討するよう、意見書の提出を求めるもの

#### 区への対応

区報への掲載等広く啓発を行っており、庁内の連携を今後も図っていく。正確な実態把握は難しいとの結論に達したため、人権問題の様々な要因の一つと位置付け、令和3年度改定予定の「墨田区人権啓発基本計画」に、啓発の実施について盛り込むこととした。また、平成30年6月29日に、墨田区議会で「見た目問題」に関する意見書が可決され、内閣総理大臣等に対して送付された。

人権尊重の条例制定を求める

**意見** 本区で上がったこの声にどう応えていくのかということが区に課せられた使命である。人権尊重の条例を検討するべきだ。

### 区民福祉委員会

開会日 4月30日(金)  
6月15日(火)  
6月23日(水)

案件 議案2件、陳情1件、報告3件

#### ◆主な審査状況を紹介します。

**可決** 改正 墨田区特別区税条例(一部改正)

地方税法の一部改正に伴い、特別区民税の非課税限度額等における扶養親族の取扱いの見直し等、所要の規定整備をするもの

国外居住扶養親族の実数把握は

**問** 控除対象扶養親族について、今回の改正後に扶養親族に含まれなくなる国外居住親族の方は、どの程度いるのか。また、その影響を区としてはどのように考えているのか。

**答** 実数は把握していないが、過去に関連で調査した結果に鑑みても、数は少ないと考えている。公平性の観点からも、必要な改正であると考えている。

寄附金控除の対象拡大について検討を

**意見** 条例指定寄付金の範囲については、区の政策判断で対象を拡大することも検討するべきである。

**可決** 墨田区指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例(一部改正)

指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正を踏まえ、指定認知症対応型共同生活介護事業所及び指定介護予防認知症

対応型共同生活介護事業所が有する共同生活住居の数に係る規定を削除する等の所要の改正を行うもの

今後の施設整備の予定について

**問** 認知症グループホームを造ると聞いているが、どの地域に整備する予定なのか。

**答** 令和4年度の開設を目指して、同愛圏域と、うめわか圏域を除く6圏域で1件公募している。また、第8期の介護保険事業計画の中では、令和3年度からの3年で2か所整備することを計画している。



**不採択** 都立・公社病院等の一括独立行政法人化反対に関する陳情

東京都の都立・公社病院等の独立行政法人化一括移行に対し、墨田区議会として反対する意見表明・決議をすること及び東京都知事に対し、墨田区議会として都立・公社病院等の独立行政法人化に反対する意見書の提出を求めるもの

公的医療の後退となる

**意見** 独立行政法人化によって公的医療が後退等してしまうことを心配している。公的医療の部分が縮小されては住民の暮らしも守れないので、採択としたい。

独立行政法人化のメリットは大きい

**意見** 独立行政法人化には、デメリット以上のメリットがあると考え

るため、不採択としたい。それぞれの立場があると思うが、区民がしっかりと公的医療を監視していくことが重要である。

**報告** SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の選定及び本区におけるSDGsの考え方等についての報告

SDGsに対する区長の決意は

**問** 墨田区の独自色を出しつつ、SDGsを推進していくに当たっての区長の決意を伺う。

**答** 未来都市に選ばれた自覚を持ち、墨田区らしいやり方で、成果も出しながら2030年に向かいたい。

**報告** 新型コロナウイルススワクチン接種実施計画の見直しについて

墨田区新型コロナウイルススワクチン接種実施計画の改定による、集団接種会場4か所の追加等についての報告

抜き打ち検査について

**問** 墨田区が、いち早くワクチン接種に関する抜き打ち検査をし、事故を未然に防ぐ対応を図っていることは高く評価したい。この抜き打ち検査はどの程度やって、どういう成果が出ているのか伺う。

抜き打ち検査は、6月7日から

**答** 始めており、3会場終わったところである。使用済の注射針等を入れる廃棄ボックスの開けっ放し等の事故の防止に対して、管理者に指導した一方で、実態に即した対応をすることについて、ワクチン担当部署とも協議をしている。



### 地域産業都市委員会

開会日 5月13日(木)  
6月14日(月)  
6月23日(水)

案件 議案2件、陳情1件、  
報告7件

◆主な審査状況を紹介します。

**可決**  
墨田区立竪川第一公園における仮設の施設の占用に関する条例(一部改正)

都市公園法施行令第12条第2項第10号の規定に基づき、占用の許可を与えることができる仮設の施設に特定自転車駐車場及び自転車保管所を加え、当該仮設の施設を設置する区立公園を定めるとともに、題名を改めるもの

自転車駐車場等の今後の運用について

**問**  
条例に基づく仮設の施設として位置付けられたことで、逆に、今までできていたことが制限されるようなことはあるのか。

**答**  
自転車駐車場や保管所に関しては、これまでどおりの運用で特に変更はない。



**採択**  
墨田区におけるゼロカーボンシティ宣言と2030年度温室効果ガス削減目標引上げに関する陳情

2050年CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)実質排出ゼロを目指す墨田区長が表明(ゼロカーボンシティ宣言)すること及び2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標を2000年度比50パーセント以上とするよう引き上げること求めるもの

ゼロカーボンシティ宣言について本区も対応が求められる

### 意見

既に23区中7区が2050年CO<sub>2</sub>実質排出ゼロを目指すことを表明している。本区もゼロカーボンシティ宣言への対応が求められる中、その必要性を認識しており、採択とした。

### 経過報告

建築物工事の騒音に関する陳情(令和2年度第11号)

### 陳情の要旨

騒音の相談窓口や騒音規制法等の周知方法の追加、法令等を業者が正しく解釈できるよう、ちらし配布等を検討し、また、健康への影響が出ないよう予防方法の周知の検討を求めるもの

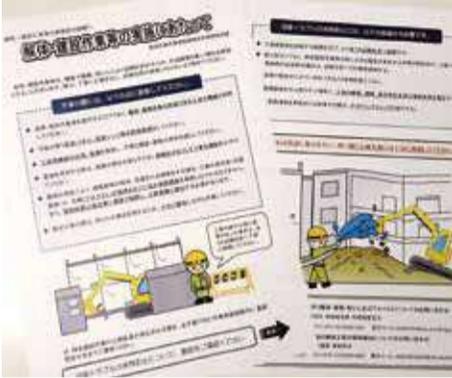
### 区への対応

区報での相談窓口の周知記事の掲載や区ホームページの内容の拡充等を行った。また、建設工事等の届出時に啓発ちらしを追加配布し、施工者への公害対策の事前指導を徹底した。さらに区ホームページに公害による健康相談について本所・向島保健センターの健康相談窓口等の情報を追加掲載し、早期の健康相談又は医療機関への受診を案内することとした。

周知啓発の頻度を増やすべき

**問**  
今後もある程度の頻度で区報に周知記事を掲載していくべき。

**答**  
騒音の苦情件数などを考慮し、掲載の時期を決めていきたい。



建設工事等届出時に配布する啓発ちらし

### 子ども文教委員会

開会日 4月20日(火)  
4月27日(火)  
6月11日(金)  
6月23日(水)

案件 議案2件、報告2件

◆主な審査状況を紹介します。

**可決**  
墨田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例(一部改正)

**可決**  
墨田区子ども医療費の助成に関する条例(一部改正)

第三者の行為によって生じた医療費について、助成の対象とすることに伴い、当該第三者への求償の根拠について定めるもの

※この2議案については、改正理由及び改正内容が同じであることから、理事者から総合的な説明を聴取した後、議案審査を行いました。

第三者への通知方法は

**問**  
医療費助成を受けた方が行う、損害賠償請求権の区への譲渡についての第三者への通知は、どのような形で行えばよいのか。

**答**  
現在、規則改正を同時並行で進めているが、この規則で定める様式に記入して提出してもらう形で考えている。

手続に関する区民への周知方法は

**問**  
第三者行為で医療費助成事由が生じた場合、ひとり親等がそのことを区に届け出るという新しい手続が発生する。運用方法及び通知、届出が必要であることの区民への周知方法について伺う。

第三者行為で医療費助成事由が生じた場合、ひとり親等がそのことを区に届け出るという新しい手続が発生する。運用方法及び通知、届出が必要であることの区民への周知方法について伺う。

### 答

利用者は、疾病届の提出と、第三者行為によるものであるため、債権を区に譲渡する手続が必要になる運用については、事故等で病院へ行った際、医療機関から手続の情報を提供し、区に連絡をもらう流れになる。周知については、医療証の発行時や区ホームページ等で区民に丁寧にお知らせし、医師会連絡会等を通じて、医師会にも情報提供する。

**報告**  
SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業への選定及び本区におけるSDGsの考え方等についての報告

**問**  
SDGsには、17のゴールと、169のターゲットがあるが、墨田区にふさわしいゴールとターゲットに絞ることで、より成果を上げることができると考える。この設定についてどのように考えているのか。

**答**  
基本計画の中間改定に当たり、区政におけるSDGsの取組の必要性を明記し、各施策との関係性を示していきたい。具体的なゴールやターゲットについては、現在、作成中の墨田区SDGs未来都市計画の中で検討していく。



**執行機関に送付した請願・陳情の処理経過等の報告について**

議会が採択し、執行機関に送付した請願・陳情について、区が、その趣旨に沿うために一定の措置又は決定を行った場合、その直後に開かれる所管の常任委員会等で報告を行うこととなりました。

### 特別委員会の活動

#### 災害対策特別委員会

【6月9日】  
令和3年度災害対策特別委員会運営方針について

本委員会の運営方針を決定し、議長へ報告することとした。

【7月14日】

墨田区地域防災計画(令和2年度修正)の概要などについて

理事者から説明を聴取し、質疑、意見交換を行った。

#### 町会・自治会振興特別委員会

【6月9日】

令和3年度町会・自治会振興特別委員会運営方針について

本委員会の運営方針を決定し、議長へ報告することとした。

【7月9日】

昨年度の振り返りについて、全国市議会議長会及び東京都の動向について、町会・自治会の位置付け及び適正な支援について並びに本委員会の今後の進め方について

昨年度の振り返り等を踏まえ、町会・自治会の位置付け及び適正な支援について、各党派等から意見を開陳し、委員間討議を行った。

【6月9日】  
令和3年度ひきこもり対策特別委員会運営方針について

本委員会の運営方針を決定し、議長へ報告することとした。

【7月9日】

昨年度の振り返りについて、他自治体の動向について、先進自治体への行政視察等の実施について並びに今後のスケジュール及び調査事項について

昨年度の振り返り等を踏まえ、先進自治体への行政視察等の実施、今後のスケジュール等について協議した。

#### 議会改革特別委員会

【6月9日】

令和3年度議会改革特別委員会運営方針について

本委員会の運営方針を決定し、議長へ報告することとした。

#### 墨田区基本計画調査特別委員会

【6月9日】

令和3年度墨田区基本計画調査特別委員会運営方針について

本委員会の運営方針の一部を決定し、議長へ報告することとした。

【6月21日】

本特別委員会の運営について、「墨田区基本計画」改定方針(案)について及び今後のスケジュールについて

今後の委員会審議に発言時間制を導入することについて協議し、運営方針を決定した。また、「墨田区基本計画」改定方針(案)について理事者から説明を聴取し、質疑、意見交換を行った。

### ひきこもり対策特別委員会

